



AU 通信

「戦争は心の中で生まれるものだから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」

2008年度芦屋ユネスコ協会 総会 開催



2008年度芦屋ユネスコ協会の総会が6月20日(金)17時30分から市民センター301室で来賓に中山市長、藤原教育長を迎えて盛大に開催された。開会にあたり、「ユネスコ会員綱領」を全員で唱和し、続いてミャンマーのサイクロン、四川大地震、岩手宮城内陸地震で被災された方々に黙祷を捧げた。冒頭の広瀬会長挨拶では、識字教育のための「書き損じ葉書の回収」の協力や、「世界遺産見学バスツアー」「平和の鐘を鳴らす行事」「年末講演会＆親睦会」などの多彩な活動に絶大なる協力を頂いたことに謝意を表し、教育、文化、科学、コミュニケーションを通じて世界平和を願ってこの芦屋から「平和の文化」を築いてゆきたいと訴えた。

次いで中山市長が祝辞で、芦屋ユネスコ協会の活動に敬意を表され、山の緑、青い海、元気な市民の住む「美しい都市芦屋」を目指してゆきたい、芦屋固有なまちづくり・環境保全などの前向きな文化市政の推進に芦屋ユネスコ協会の理解と協力を是非お願いしたいと要請された。

続いて「書き損じ葉書」の回収に協力頂いた○芦屋大学附属中・高等学校○芦屋市立潮見中学校○芦屋市立山手中学校○芦屋市立市民病院に会長から感謝状を贈呈した。

議事に入り、2007年度事業報告、決算報告・監査報告、2008～2009年度の新役員の選任、2008年度事業計画、予算が満場一致で承認され総会は無事終了した。





総会の記念講演会は、冒頭 藤原教育長から芦屋の文化財は数多くあり、最近も次々と発見されておりこれからも大いに期待されるとお話があり、メイン講師として元芦屋市立美術博物館副館長の岩本昌三氏から自作のマップが配布され「芦屋地域の文化遺産について」と題して、特色のある芦屋地域の文化遺産の一端をわかり易く紹介して頂いた。

○奥池周辺の自然の素晴らしさ ○秀でた歴史資料と数多くの遺跡と出土品の紹介と、これの保護努力
○重要文化財旧山邑家の指定の経緯と、保存修理について ○富田碎花、谷崎潤一郎に代表される文学・美術の足跡、 ○そして震災による文化財レスキューについての体験などを交え芦屋の文化遺産について簡潔にお話いただき、認識を新たにすることができた。先人の英知や努力などによって築かれたすぐれた芦屋の文化的財産を継承していくことは更に新しい文化を創造することにつながり大切なことだと認識を深めると共に、わがまち芦屋の誇りを更に持たして頂くことができた。

記念講演の後、恒例の「会員交流懇親会」では、ご馳走に舌鼓をうちながら親しく歓談交流し、今回も池西常任理事出題による世界遺産クイズの ○×ゲームで世界遺産の勉強をしながら、景品の争奪を和気藹々と行って楽しいひとときを過した。

以上、お陰さまで2008年度の芦屋 UNESCO 協会総会が無事終了できましたことの報告とご協力のお礼を申し上げます。
(報告:事務局長 山田 利郎)



2008年度～2009年度

芦屋ユネスコ協会 役員の紹介

会長 広瀬 忠子

副会長 森 隆資(交流部会長)・西田 元次(事業部会長)・由里 正雄(育成部会長)

専務理事 兼 事務局長 山田 利郎 ・常任理事 兼 事務局次長 江藤 容子

常任理事 塩井 努・住本 明子・西本 綾子・三宮 晶子・池西 憲治・上野 光永

理事 兼 会計 塩井 君子・加藤 裕子

理事 石本 章宏・増谷 公子・久我 和子・水渡 富美・中川 明・本荘 美恵

モグベル・マヒン(新)・永井 緑子(新)・徳矢 曜子(新)

監査委員 河上 せつ子・上野 義治(新)

顧問 山中 健(芦屋市 市長)・藤原 周三(芦屋市教育委員会 教育長)

相談役 橋本 達広(芦屋市教育委員会 社会教育部長)

どうぞよろしくお願い申し上げます。

諸会議 参加報告

◎近畿ユネスコ協議会

5月31日(土) 奈良市 元興寺禅室 「2008年度総会と講演会」 山田事務局長出席

◎2008年度 日本ユネスコ運動全国大会 in 東京

6月7日(土)～8日(日) 東京都目黒区パーシモンホール

メインテーマ「あなたが明日の地球を創る・勿体ないの精神を再び・」 山田事務局長出席

◎兵庫県ユネスコ連絡協議会

6月27日(金) 西宮 白鹿・宜春苑 「2008年度総会と見学会」

由里副会長・山田事務局長・上野常任理事・塩井理事出席

◎阪神間ユネスコ協会連絡会

7月18日(金) 芦屋市民センター203室 「定例連絡会」

尼崎、伊丹、川西、神戸、三田、宝塚、西宮、三木、芦屋の9ユネスコ協会から役員が出席

(当番協会の芦屋で開催、山中市長、藤原教育長の歓迎あいさつ、会長以下全役員出席)



第64回日本ユネスコ運動全国大会 in 東京

大会テーマ あなたが明日の地球を作る・失われた「勿体ない」の精神を再び・

第64回日本ユネスコ運動全国大会 in 東京が2008年6月7日(土)～8日(日)の2日間、東京・目黒のパーシモンホールで全国から約800名の会員が参加し開催された。芦屋ユネスコ協会からは山田事務局長が参加した。

本年の大会は、昨年運動発祥60周年を迎えた民間ユネスコ運動の運動方針を「平和の文化」の構築を大目標に、「平和の文化の実践活動」「世界寺小屋運動(国際識字運動)」「世界遺産・地域遺産活動(保護活動)」の三本柱を定めた。この「平和の文化」はUNESCOの理念そのものであり、その実践活動を通じ全国の会員がより深く学び合い、民間ユネスコ運動に相応しい「明日の地球を創る」ための活動を、日本人が古来から身につけていた「勿体ない」の精神から学び研鑽を深めることを趣旨に開催された。

・基調講演は、国際連合大学、東京大学名誉教授 安井 至氏が「地球の未来と持続可能性に取り組む科学技術の今」と題し、私たちがこの地球でくらし続けて行くためには先進国の人、途上国の人、都会の人、農村の人、ものをつくる人、ものを買う人、大人も、子どももすべての人が「くらし方」や「社会の仕組み」など科学技術を駆使した色々な事例を挙げながら持続可能なものに変えて、未来に地球を残さねばならないことを強調された。

・シンポジウムでは、長野 博教授をモデレーターにパネリストに安井 至先生、見上一幸先生、杉並ユネスコの林美紀子 理事によって「あなたが明日の地球を創る」をテーマとした熱心なディスカッションでは、世界中の人々そして将来世代の人々が安心してくらせる社会にするためには環境、社会、経済をバランスよく保ち、平和にずっと地球と共に生きる持続可能な開発が必要とされている。

持続可能な社会をつくるためにはさまざまな取り組みが必要となるが、その中で社会の課題と自分の「つながり」に気づき行動できる「意欲」や「能力」を持った人とその行動を支える「人と人のつながり」を育てることの大切さがたくさんの事例を交えて熱心な討議が展開された。

・青年ユネスコ会員有志による決意表明では、地球環境を守るために生活の無駄を排除することが大事である。“一人一人できることからやってゆこう”と呼びかけがなされた。

・アジアから馳せ参じたインド、カンボジヤ、ラオス、インドのアジアの青年たちから「世界寺小屋運動プロジェクト」の現状の発表があり“教育を通じて貧困から脱却”する努力を継続して進められることを強く訴えていた。

今回の全国大会に参加しユネスコの理想と現実社会との間には大きなギャップがある。そのギャップを地道なボランティア活動によって埋めていこうとする私たちの運動は、まことに厳しいことだが平和社会の実現になくてはならないものである。地域の中で、具体的で明確な目標を掲げ、市民運動でしか出来ない活動を地道に進めてゆくことに誇りを持ち、私たち民間のユネスコ会員の力でUNESCOの理想に向かってよりよい社会を創っていくかなければならないと思いを新たにした次第である。

来年度の第65回日本ユネスコ運動全国大会は、2009年11月7日(土)～8日(日)神奈川県横浜市の大桟橋ホールで「多文化の共生と協調」を軸にした内容で開催されることが決定された。

「民間ユネスコ運動の日」の街頭行事実施報告

芦屋ユネスコ協会は、7月19日（土曜日）に「民間ユネスコ運動の日」の街頭行事を実施致しました。

日本ではじまった世界初の民間ユネスコ運動が、昨年60周年を迎えたことを節目として一昨年からこの街頭行事を全国各協会で一斉に実施しております。「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」「二度と戦争を起こさない」の誓いのもとで運動を続けているユネスコの活動を理解し、支援・協力して頂くためにこの街頭行事を今年も実施致しました。

会長始め役員、会員有志が、JR芦屋駅北口、南口、ペデストリアンデッキの3ヶ所に分かれ、それぞれ「のぼり」「横断幕」を掲げ、会員は「たすき」を掛けて、ユネスコ精神や活動を知って頂く・チラシ3枚・入会申込書・可愛いシールなどをビニールファイルにセットして、500人の市民の方にお配りしユネスコ運動に対する支援・協力のお願いを行いました。尚、当日 10,332 円の募金もいただきました。この行事に協力頂いた芦屋警察署、市・道路課、芦屋教育委員会・生涯学習課と暑さ厳しい中、この行事に参加頂きPRに汗を流して頂いた会員の皆さんに心より感謝申し上げます。一人でも多くの方に芦屋ユネスコ協会に入会頂けることを期待し報告とします。



「平和の鐘を鳴らそう」行事の参加のお願い　！！

～平和への祈りと願い～を込めて、平和の鐘（かね）を高らかに鳴らしましょう。

8月15日（金曜日） 正午12時に鳴らす・・

～芦屋ユネスコ協会から市民の皆さんにお願い～

芦屋ユネスコ協会は本年も**8月15日（金）12時**にご参加頂き

市民センター玄関前の「優愛の鐘」を～平和への祈りと願い～を込めて高らかにならすこととしています。皆様のご参加を心からお待ちしています。

鐘を鳴らした後、市民センター203室に場所を移し、“ふかし芋”や“おにぎり”を食べながら、戦中・戦後のあの頃を偲び、平和の有難さを語り合って世界平和の実現を芦屋から発信して参りましょう。

どうぞ、ご家族の方、ご近所の方、お知り合いの方、特にお若い方、お子さんをお説きいただき一緒に参加頂きますようお願い申し上げます。

今からご予定頂きご参加の程、よろしくお願ひ申し上げます。

書き損じハガキ 回収のお願い

2007年度は、学校、団体、会員、市民の皆さんから沢山の「書き損じハガキ」をご寄贈頂きました。早速(社)日本ユネスコ協会連盟一本部一に送付し「世界寺小屋運動」即ち地球上の多くの文字の読めない人たちや世界の恵まれない子どもたちに学習の機会を与えるための教育支援に役立たせて頂きました。このような地道な取り組みのご協力に心より厚く御礼申し上げます。2008年度も引き続きよろしくお願ひ致します。

会員の皆様にお願い

本年度の年会費の納入が未だの方は、出来るだけ早急に振り込んで頂くか、最寄りの役員にお届けください。

編集後記

暑くなりました。総会も終わりホッとするまもなく炎天下のユネスコの日のビラ配りも終わりました。次は平和の鐘を鳴らそう。私達の生活は無駄の多い毎日です。おにぎりと蒸かし芋を食べながら皆で今の世の中をもう一度考えてみたと思います。　本荘　美恵